

国から都道府県への協議に関する意見

都道府県名：神奈川県

1. 令和6（2024）年度シーリング案に関する意見

- 「特別地域連携プログラム」については、理論上、シーリング対象である都道府県別診療科の採用枠が増加することで、本来定着させたい東北地方の専攻医が東京の「特別地域連携プログラム」枠に応募をし、東北地方への勤務が1年間のみとなることも想定され、必ずしも医師の地方への定着に資するとは言えないとの懸念がある。

2. 令和7（2025）年度以降に向けて検討中の子育て支援加算に関する意見

- 「子育て支援加算」については、育児介護休業法の趣旨に鑑み、導入には賛成するが、「特別地域連携プログラム」を前提とした運用には反対する。なお、医師多数都道府県への偏在を助長しない観点から、シーリング対象である都道府県別診療科の「子育て支援加算」枠には一定の上限を設けることが望ましい。

3. その他の意見

- 意見なし

個別のプログラムに関する意見

都道府県名：神奈川県

基幹施設名：各施設共通

診療科領域名：各診療科共通

プログラム名：各プログラム共通

1. プログラムの連携施設及びローテーションの設定に関する意見

- ・ 意見なし

2. プログラムの採用人数に関する意見

- ・ 意見なし

3. プログラムの廃止に関する意見（該当する場合のみ）

- ・ 該当なし

4. 地域枠医師等への配慮に関する意見

- ・ 意見なし

5. その他の意見

- ① 専門医機構から基幹施設に対する指導の徹底、あらかじめ専門医機構で精査、整備した各診療科別の事前情報提供、ローテーションデータへの二次医療圏情報の設定を要望する。

(①の要望理由)

- ・ 専門医機構からの提供データについて、基幹施設の定員数とローテーション数が一致しない箇所があったほか、ローテーションデータについて複数の施設で空欄箇所が引き続き生じていた。

- ・ ローテーションの空欄箇所は、基幹施設がローテーション未定のままプログラムの様式を提出したことが大きな要因であり、専門医機構がプログラム作成の指導を行うとのことだったが徹底されていない。
- ・ また、ローテーションデータに二次医療圏情報のフィルタリングが設定されていないため、各研修プログラムが当県の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっているかの判断は難しい。

② 本県の医療機関を連携施設とする他都道府県の専門研修プログラムは、専門研修の人員配置が本県の医師確保対策や偏在対策に資するか否かの判断に影響を及ぼすため、他都道府県の基幹施設のうち、本県の医療機関を連携施設として登録している基幹施設のローテーションデータについて提供いただきたい。

(②の要望理由)

- ・ 専門医機構からの提供データについて、他都道府県に所在する専門研修基幹施設のローテーションデータが現状提供されていない。

※ 本別紙 2 の内容の日本専門医機構及び関係基本領域学会への提供希望

希望する ・ 希望しない

各診療領域のプログラムに共通する意見

都道府県名：神奈川県

診療科領域名：各診療科領域共通

1. 複数の基幹施設設置に関する意見（内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科及び麻酔科のみ）

- ・ 意見なし

2. 診療科別の定員配置に関する意見

- ・ 意見なし

3. その他の意見

- ・ 別紙2「5. その他の意見」に同じ

※ 本別紙3の内容の日本専門医機構及び関係基本領域学会への提供希望

希望する ・ 希望しない